

動物の健康を守り、人と動物が安心して共存できる社会を支える獣医師。それが私の将来の夢です。

私は動物が好きですが、父が動物アレルギーのため、残念ながら犬や猫を飼うことができません。そこで、近所に住む親戚の伯母さんの家によく遊びに行き、飼い犬のトイ・プードル「トア」と触れ合います。

私が獣医師になりたいと思ったきっかけは去年、トアが突然体調を崩してしまったことです。いつも元気だったトアが急に食欲をなくし、動けなくなってしまいました。親戚みんなで心配して動物病院に連れて行くと、獣医師の先生が丁寧に診察をし、すぐに適切な治療をしてくださいました。数日後、トアは元気を取り戻し、また走り回れるようになりました。そのとき、私も、動物の健康を守り周りの人たちも笑顔にする獣医師という仕事がしたいと思うようになりました。

獣医師は、病気やケガをした動物の診察・治療を行うだけでなく、人に感染する可能性のある動物由来の病気を予防したり、家畜の繁殖・飼育環境の改善、野生動物の保護活動にも携わるなど、活動の場は幅広いです。獣医師は、動物を通じて人々の生活や社会を支える、やりがいと責任感の伴う仕事だと思います。

獣医師になるためには、大学の獣医学部に進学し、獣医師国家試験に合格する必要があります。一方、動物のことを大好きに思う気持ちも大事だと思います。私は、よく、休日に動物園に連れて行ってもらい、動物と触れ合ったり、また、図書館で動物に関する本を借りて読んだりしています。動物のことを心から大好きに思う気持ちを、これからも大事にしたいと思っています。

十数年後の私へ。あなたは獣医師として活躍していますか？「はい」という返事が返ってくるよう、夢に向かって努力したいと思っています。